

東北電力株式会社 女川原子力発電所

令和5年度(第2四半期)

原子力規制検査報告書

(原子力施設安全及び放射線安全に係る基本検査)

(案)

令和5年10月

実用炉監視部門

専門検査部門

目次

1. 実施概要	1
2. 運転等の状況	1
3. 検査結果	1
4. 検査内容	2
別添1 品質マネジメントシステムの運用年次検査の詳細	別添 1-1
別添2 確認資料	
1 日常検査	別添 2-1
2 チーム検査	別添 2-7

1. 実施概要

- (1) 事業者名: 東北電力株式会社
- (2) 事業所名: 女川原子力発電所
- (3) 検査期間: 令和5年7月1日～令和5年9月30日
- (4) 検査実施者: 女川原子力規制事務所

川ノ上 浩文

米倉 英晃

河田 拓也

原子力規制部検査グループ専門検査部門

上田 洋

種市 隆人

平井 隆

宇野 正登

平沢 淳

江頭 豊

吉村 直樹

大江 勇人

堀間 智

坂路 壽利

大和田 博幸

検査補助者: 女川原子力規制事務所

河村 浩史

門間 博文

岩見 和彦

原子力規制部検査グループ専門検査部門

磯野 誠司

小坂 淳彦

2. 運転等の状況

号機	電気出力 (万 kW)	検査期間中の運転、停止、廃止措置及び建設の状況
1号機	52.4	廃止措置中(使用済燃料プールに使用済燃料を貯蔵中)
2号機	82.5	停止中
3号機	82.5	停止中

3. 検査結果

検査は、検査対象に対して適切な検査運用ガイド(以下単に「ガイド」という。)を使用して実

施した。検査対象については、原子力検査官が事前に入手した現状の施設の運用や保安に関する事項、保安活動の状況、リスク情報等を踏まえて選定した。検査においては、事業者の実際の保安活動、社内基準、記録類の確認、関係者への聞き取り等により活動状況を確認した。ガイドは、原子力規制委員会ホームページに掲載されている。

第2四半期の結果は、以下のとおりである。

3. 1 検査指摘事項等

検査指摘事項等なし

3. 2 検査継続案件

検査継続案件なし

4. 検査内容

4. 1 日常検査

(1) BM0020 定期事業者検査に対する監督

検査項目 定期事業者検査

検査対象

- 1) 蒸気タービン開放検査【検査未了】

(2) BM0060 保全の有効性評価

検査項目 施設管理目標の監視及び評価

検査対象

- 1) 2号機 第3回定期安全レビューの業務計画

(3) BM0100 設計管理

検査項目 設計管理の適切性

検査対象

- 1) 2号機 耐震裕度向上工事のうちサプレッションチェンバ改造工事

(4) BM0110 作業管理

検査項目 作業管理

検査対象

- 1) 2号機 原子炉仮復旧・再開作業
- 2) 2号機 原子炉低圧時代替注水設備設置工事付帯工事
- 3) 2号機 制御建屋における発煙事象
- 4) 3号機 非常用ディーゼル発電機(A)長期停止期間機器点検
- 5) 1号機 新燃料貯蔵庫開放・復旧工事

(5)BO0010 サーベイランス試験

検査項目 標準的な検査

検査対象

- 1)3号機 燃料プール補給水系ポンプ手動起動試験

(6)BO1020 設備の系統構成

検査項目 標準的系統構成

検査対象

- 1)3号機 燃料プール補給水系ポンプ手動起動試験

(7)BO1040 動作可能性判断及び機能性評価

検査項目 動作可能性判断及び機能性評価

検査対象

- 1)3号機 燃料プール補給水系ポンプ手動起動試験

(8)BE0010 自然災害防護

検査項目 自然災害防護

検査対象

- 1)台風13号への対応状況

(9)BE0020 火災防護

検査項目 四半期検査

検査対象

- 1)センサーの取付け状況

(10)BE0050 緊急時対応の準備と保全

検査項目 緊急時対応の準備と保全

検査対象

- 1)電源確保訓練に係る機材・設備の保全活動状況
- 2)No. 2代替モニタリングポスト設置・通信訓練

(11)BE0060 重大事故等対応要員の能力維持

検査項目 重大事故等発生時に係る力量の維持向上のための教育及び訓練

検査対象

- 1)大容量ポンプ車操作訓練(力量付与)

検査項目 重大事故等発生時に係る成立性の確認訓練

検査対象

- 1) 机上訓練による有効性評価の成立性確認訓練
- 2) 運転シミュレータによる重大事故等発生時に係る成立性確認訓練

(12)BE0090 地震防護

検査項目 地震防護

検査対象

- 1) 2号機 耐震裕度向上工事のうちサプレッションチェンバ改造工事

(13)BR0010 放射線被ばくの管理

検査項目 放射線被ばくの管理

検査対象

- 1) 原子炉低圧時代替注水設備設置工事付帯工事における放射線被ばくの管理

(14)BQ0010 品質マネジメントシステムの運用

検査項目 半期検査

検査対象

- 1) コンディションレポート及び不適合の傾向把握・分析

4. 2チーム検査

(1)BM0010 使用前事業者検査に対する監督

検査項目 使用前事業者検査(変更工事)

検査対象

- 1) 2号機 新規制基準への適合性に係る工事【検査未了】
- 2) 2号機 新規制施行で新たに技術基準への適合性が求められる溶接部【検査未了】

(2)BQ0010 品質マネジメントシステムの運用

検査項目 年次検査

検査対象

- 1) 改善措置活動の実効性、他施設における運転経験及び知見の活用

別添1 品質マネジメントシステムの運用年次検査の詳細

<p>改善措置活動の実効性</p>	<p>(1) 問題の特定</p> <p>事業者の改善措置活動(以下「CAP」という。)は「原子力QMS改善措置活動要領」「改善措置活動運用要領書」に基づき、発電所員や協力会社社員等が本来あるべき状態とは異なる状態を確認した際に状態報告(以下「CR」という。)を作成し、スクリーニング会議にて事前にCR内容を確認しスクリーニングレビュー会議において不適合区分及び原子力安全に影響を及ぼす状態(以下「CAQ」という。)か影響を及ぼさない状態(以下「Non-CAQ」という。)の判断が行われ、その後不適合またはCAQと判断された事象に対して改善措置検討会(以下「CAP検討会」という。)において是正処置内容等の審議が行われていることを原子力検査官(以下「検査官」という。)は確認した。</p> <p>2021年4月から2023年6月までのCRを確認したところ、この間のCRは7,316件であり、そのうち不適合は1,895件、CAQ事象は56件、Non-CAQ事象は1,839件であった。</p> <p>(2) 問題の重要度分類及び評価</p> <p>事業者の不適合判断およびCAQの重要度分類は、CAP検討会等において「原子力QMS改善措置活動要領」に従い実施され、検査官はそれら不適合等への処置が審議されていることを確認した。</p> <p>そのうち以下の事象について検査官は、発生状況を踏まえた重要度分類及び評価における事業者の判断に対して以下の気づきがあった。</p> <p>① 設備の不適合管理を適切に実施せず状態を悪化させた事象</p> <p>2023年1月28日、3号サービス建屋トラック侵入エリア東側両開き扉の子扉上部の扉ロック機構が破損し解錠のまま固着したが、下部扉ロック機構は正常に動作するため扉の開閉操作への影響はないことからNon-CAQとして、上部ロック機構の不適合と判断したが、特別採用の評価及び判断を行わずそのまま使用を続けたため、同年6月13日、更に下部扉ロック機構が施錠状態で固着する類似事象が発生し扉が開けられない状態となった。</p> <p>原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則(以下「品質管理基準規則」という。)第</p>
-------------------	---

49条不適合の管理で要求される「要求事項に適合しない機器等が使用」されることがないように管理する等の措置をCAP検討会で適切な判断せず継続使用していた。

検査官の確認した上記事実について、事業者は特別採用の判断など不適合管理を適切に行い、事象の悪化を防止するように適切な処置を行うこととしている。

② リスクを考慮した判断となっていない事象

2023年5月25日、固体廃棄物焼却炉プロセス放射線モニタのサンプルガス流量がサンプルガス配管の詰まりにより35L/minまで指示が急落した。事業者は当該サンプルガス流量が、34L/minまで低下するとサンプルポンプが停止することになり、保安規定第90条および第290条に定める放射性気体廃棄物の放射性物質濃度測定に影響があると認識していたにもかかわらず、焼却炉が停止中であったことから運転中に発生するリスクを考慮せず本不適合事象をNon-CAQと判断していた。

検査官の確認した事実について、事業者は発生した事象だけに着目するのではなく、その事象のリスクを考慮してCAQ判断を行うとしている。

(3) 是正処置

スクリーニングレビュー会議にて不適合と判断された事象は「原子力QMS改善措置活動要領」に従い、是正処置が行われていることを確認した。

しかしながら過去に採った是正処置の効果がなく再発している事象があることから、事業者はその共通原因分析を行っている。

2022年11月末時点で削孔作業による埋設物を損傷させた不適合事象が9件連続発生しており、重要な動力ケーブルの損傷事例も繰り返し発生していた。

事業者は、個々の不適合事象については個別に是正処置を実施しているが、今後も安全対策工事による削孔作業が継続することから、共通要因を分析し、その対策を行った。

検査官が、その分析結果と対策を確認したところ、事業者はこの対策として分析結果を所内に周知をしたのみであり、分析で把握された共通要因を作業の計画・実施段階の業務プロセスに反映するなどの改善までは行っていなかった。

検査官の確認した事実について、事業者は共通要因の周知だ

	<p>けでは一過性の対策に留まることを認識し、改善が実効性のあるものとするためプロセスの改善を図ることとしている。</p>
<p>他施設における運転経験及び知見の活用</p>	<p>本店原子力部は、原子力施設その他の施設の運転経験等の知見として入手した情報を「原子力保安情報処理要領」「女川原子力発電所情報検討会要領書」等に基づき、スクリーニングして設備保全統合管理システムに入力し、女川原子力発電所(以下「発電所」という。)のCRとして登録されている。その後、発電所では原則として1回/月定期的に情報検討会にて登録されたCRを審議していることを確認した。</p> <p>2021年4月から2023年6月に本店原子力部が入手した484件の情報をもとに発電所で未然防止処置が必要と判断したものは25件、そのうち処置が完了したものは15件で処置中のものは10件であった。</p> <p>検査官は他の原子力施設の運転経験等に対して下記のように適切な対応ができていない事例を確認した。</p> <p>2023年1月30日に関西電力株式会社高浜発電所で発生した電気ペネトレーションケーブル接触不良による原子炉停止事象について、本店原子力部において関西電力株式会社のホームページでの原因・対策プレス情報(2023年3月7日)をもとに4月24日に原子力情報検討会にて未然防止処置不要(1回目)としていた。また、ニューシアからの同事象の情報に基づいて5月29日に原子力情報検討会で再審議し再び未然防止処置不要(2回目)とし、原子力規制庁(以下「NRA」という。)からの2022年度第4四半期原子力規制検査報告(5月17日)の情報をもとに5月29日の原子力情報検討会でも未然防止処置不要(3回目)としていた。しかし5月24日にNRAより発出された被規制者向け情報通知文書をもとに6月26日の原子力情報検討会では未然防止処置検討継続に変更し検討中としていた。</p> <p>電気ペネトレーションケーブル接触不良のような重要設備の他施設の運転経験について、NRAから文書が発出されるまで本店原子力情報検討会にて3回未然防止処置不要としており、他施設における運転経験及び知見に対して適切な対応が出来ていなかった。</p> <p>検査官の確認した事実について事業者は、他施設における運転経験及び知見を重要度に応じて積極的に情報収集を行い適切に対応できるよう改善を行うとしている。</p>

別添2 確認資料

1 日常検査

(1)BM0020 定期事業者検査に対する監督

検査項目 定期事業者検査

検査対象

1)蒸気タービン開放検査【検査未了】

資料名

- ・女川原子力発電所 第2号機 第11 保全サイクル定期事業者検査要領書 蒸気タービン開放検査(O2-055-1)

(2)BM0060 保全の有効性評価

検査項目 施設管理目標の監視及び評価

検査対象

1)2号機 第3回定期安全レビューの業務計画

資料名

- ・女川原子力発電所2号機第3回定期安全レビューの業務計画(2023年8月31日)

(3)BM0100 設計管理

検査項目 設計管理の適切性

検査対象

1)2号機 耐震裕度向上工事のうちサプレッションチェンバ改造工事

資料名

- ・女川2号機 サプレッションチェンバ改造工事に係る業務計画書および設計・開発計画書(決定 2021年12月3日)

(4)BM0110 作業管理

検査項目 作業管理

検査対象

1)2号機 原子炉仮復旧・再開放作業

資料名

- ・作業管理要領書(機械)(原7-5-保原1(女川))(改45)
- ・女川原子力発電所 第2号機 長期停止(機械)起動前点検工事 原子炉仮復旧・再開放作業のうち原子炉仮復旧・再開放作業(G23R-079)
- ・女川原子力発電所 第2号機 長期停止(機械)起動前点検工事 原子炉再開放・仮復旧(O2-22-RM-P123X-00)
- ・女川原子力発電所FME教育テキスト(応用編)(2022年4月)
- ・FME特別強化エリア作業許可申請書(工事件名:2号機 原子炉仮復旧・再開放)

作業のうち原子炉仮復旧・再開放作業)

- ・確認項目表 女川原子力発電所第2号機 FME特別強化エリアにおける管理について

2) 2号機 原子炉低圧時代替注水設備設置工事付帯工事

資料名

- ・女川原子力発電所第2号機 原子炉低圧時代替注水設備設置工事付帯工事 工事仕様書
- ・女川原子力発電所第2号機 原子炉低圧時代替注水設備設置工事付帯工事 工事要領書
- ・保全通知 O2__体表面ゲートモニタでの警報発生(人工核種の検出)(耐圧試験準備作業)

3) 2号機 制御建屋における発煙事象

資料名

- ・火災速報連絡票 女川原子力発電所における火災について(発煙事象)(第1報)(2023年8月23日)
- ・火災速報連絡票 女川原子力発電所における火災について(発煙事象)(第2報)(2023年8月23日)
- ・火災速報連絡票 女川原子力発電所における火災について(発煙事象)(第3報(最終報))(2023年8月23日)
- ・女川原子力発電所2号機制御建屋における発煙について(2023年8月24日)
- ・保全通知 概要 O2__SA対策工事における溶接機からの発煙事象
- ・保全通知 概要 O2__発煙事象発生時における通報遅れ

4) 3号機 非常用ディーゼル発電機(A)長期停止期間機器点検

資料名

- ・作業管理要領書(機械)(原7-5-保原1(女川))(改45)
- ・女川原子力発電所第3号機 工事要領書 第5回長期停止期間機器点検修繕(機械)非常用ディーゼル発電設備点検(改1)
- ・女川原子力発電所第3号機 工事要領書 第5回長期停止期間機器点検修繕(機械)非常用ディーゼル発電設備点検(改2)
- ・女川原子力発電所第2号機 工事要領書 第5回長期停止期間機器点検修繕(機械)非常用ディーゼル発電設備点検(改2)
- ・女川原子力発電所第3号機 警報装置から発せられた警報の記録(2023年8月29日)
- ・女川原子力発電所第3号機 警報装置から発せられた警報の記録(2023年9月2日)
- ・保全通知 O3__DG(A)系シリンダ(A3)の排気温度の異常
- ・技術連絡票__O-2 DG(B)No. 4燃料噴射ポンプ固着事象 損傷部表面観察及び燃料油分析結果を踏まえた御報告

5)1号機 新燃料貯蔵庫開放・復旧工事

資料名

- ・作業管理要領書(機械)(原7-5-保原1(女川))(改45)
- ・保全通知 O1__新燃料貯蔵庫への懐中電灯落下

(5)B00010 サーベイランス試験

検査項目 標準的な検査

検査対象

1)3号機 燃料プール補給水系ポンプ手動起動試験

資料名

- ・女川原子力発電所3号機 機器配置図集 原子炉建屋機器配置図 地下3階 O P-8100(改1)
- ・女川原子力発電所3号機 配管計装線図集 燃料プール補給水系配管計装線図(改0)
- ・女川原子力発電所3号機 第10編 定期試験手順書(改136)
- ・女川原子力発電所3号機 設備概要(改0)
- ・定期試験記録 女川3号機 燃料プール補給水系ポンプ手動起動試験(令和5年7月14日)

(6)B01020 設備の系統構成

検査項目 標準的系統構成

検査対象

1)3号機 燃料プール補給水系ポンプ手動起動試験

資料名

- ・女川原子力発電所3号機 機器配置図集 原子炉建屋機器配置図 地下3階 O P-8100(改1)
- ・女川原子力発電所3号機 配管計装線図集 燃料プール補給水系配管計装線図(改0)
- ・女川原子力発電所3号機 第10編 定期試験手順書(改136)
- ・女川原子力発電所3号機 設備概要(改0)
- ・定期試験記録 女川3号機 燃料プール補給水系ポンプ手動起動試験(令和5年7月14日)

(7)B01040 動作可能性判断及び機能性評価

検査項目 動作可能性判断及び機能性評価

検査対象

1)3号機 燃料プール補給水系ポンプ手動起動試験

資料名

- ・女川原子力発電所3号機 機器配置図集 原子炉建屋機器配置図 地下3階 OP-8100(改1)
- ・女川原子力発電所3号機 配管計装線図集 燃料プール補給水系配管計装線図(改0)
- ・女川原子力発電所3号機 第10編 定期試験手順書(改136)
- ・女川原子力発電所3号機 設備概要(改0)
- ・定期試験記録 女川3号機 燃料プール補給水系ポンプ手動起動試験(令和5年7月14日)

(8)BE0010 自然災害防護

検査項目 自然災害防護

検査対象

1)台風13号への対応状況

資料名

- ・非常災害対策連絡票 女川原子力発電所「警戒体制」の発令について
- ・台風13号接近に伴う対応方針について 2023年9月8日
- ・台風13号接近に伴う対応集約結果 2023年9月8日
- ・非常災害対策準備要領書 2023年2月28日
- ・非常災害対策連絡票 女川原子力発電所「警戒体制」の解除について

(9)BE0020 火災防護

検査項目 四半期検査

検査対象

1)センサーの取付け状況

資料名

- ・女川原子力発電所2号炉 火災防護対策について(2023年7月24日)
- ・女川(発)2号火災防護対策他工事 2号制御建屋 自動火災報知設備 1階、2階感知器配管配線図

(10)BE0050 緊急時対応の準備と保全

検査項目 緊急時対応の準備と保全

検査対象

1)電源確保訓練に係る機材・設備の保全活動状況

資料名

- ・高台電源設備定期点検工事 工事報告書(2023年3月23日)
- ・女川66kV開閉所設備定期点検工事 工事報告書(2022年12月16日)

- ・年間整備計画表(2023年4月より12ヶ月、2022年4月より12ヶ月)
- ・2023年度高低圧電源車(移動、空輸対応型電源車含む)発電装置部定期点検計画
- ・2022年度高・低圧電源車定期点検計画
- ・女川原子力発電所 重大事故等対応業務(A業務)月報(2022年4月分～2023年3月分)
- ・女川原子力発電所 重大事故等対応業務月報(2023年4月分～6月分)
- ・低圧・高圧ケーブル、高圧接続箱 外観点検、絶縁抵抗測定 点検記録(1/1年)(2022年8月31日)
- ・高圧応急用発電機車負荷側ケーブル特性試験 点検記録(1/1年)(2022年8月29日)

2) No. 2代替モニタリングポスト設置・通信訓練

資料名

- ・環境放射線モニタリング訓練実施計画 2023年9月21日

(11) BE0060 重大事故等対応要員の能力維持

検査項目 重大事故等発生時に係る力量の維持向上のための教育及び訓練

検査対象

1) 大容量ポンプ車操作訓練(力量付与)

資料名

- ・重大事故等対応要領書(原7-6-技防6(女川))(改2)
- ・重大事故等対策要員に対する重大事故等および大規模損壊対応に係る教育・訓練要領書(原6-1-技防1(女川))(改0)
- ・重大事故等対策要員の教育訓練～大容量送水ポンプ車操作訓練～

検査項目 重大事故等発生時に係る成立性の確認訓練

検査対象

1) 机上訓練による有効性評価の成立性確認訓練

資料名

- ・重大事故等対応要領書(原7-6-技防6(女川))(改2)
- ・重大事故等対策要員に対する重大事故等および大規模損壊対応に係る教育・訓練要領書(原6-1-技防1(女川))(改0)
- ・重大事故等対応要員に対する「机上訓練による有効性評価の成立性確認訓練」の実施について
- ・女川原子力発電所 机上訓練による有効性評価の成立性確認訓練 オリエンテーション資料

2) 運転シミュレータによる重大事故等発生時に係る成立性確認訓練

資料名

- ・運転員に対する重大事故等および大規模損壊対応に係る教育・訓練要領書(原6-1-発発1(女川))(改3)
- ・女川発電部体制表(2023年8月1日)

(12)BE0090 地震防護

検査項目 地震防護

検査対象

1)2号機 耐震裕度向上工事のうちサプレッションチェンバ改造工事

資料名

- ・工事計画認可申請書(VI-2-9-2-1-2 サプレッションチェンバの耐震性についての計算書)
- ・工事計画認可申請書(VI-2-9-2-1-5 ボックスサポートの耐震性についての計算書)
- ・工事計画認可申請書(VI-2-9-4-1 ダウンカマの耐震性についての計算書)
- ・工事計画認可申請書(VI-2-9-4-2 ベント管の耐震性についての計算書)
- ・工事計画審査資料(補足-600-11 サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質の考え方の変更等についての補足説明)
- ・工事計画審査資料(補足-600-40-1 機器・配管系の設備の既工認からの構造変更について)
- ・工事計画審査資料(補足-600-40-44 原子炉格納容器ベント系設備の地震応答解析モデルの精緻化等に関する補足説明資料)

(13)BR0010 放射線被ばくの管理

検査項目 放射線被ばくの管理

検査対象

1)原子炉低圧時代替注水設備設置工事付帯工事における放射線被ばくの管理

資料名

- ・放射線防護教育手順書(原6-1-環放1(女川))(改13)
- ・管理区域入退域手順書(原7-4-環放2(女川))(改53)
- ・管理区域設定手順書(原7-4-環放5(女川))(改35)
- ・女川原子力発電所第2号機 原子炉低圧時代替注水設備設置工事付帯工事 工事仕様書
- ・女川原子力発電所第2号機 原子炉低圧時代替注水設備設置工事付帯工事 工事要領書
- ・作業予定表・防護指導書(No.00-230808-00004)
- ・保全通知 02_体表面ゲートモニタでの警報発生(人工核種の検出)(耐圧試験準備)

作業)

(14)BQ0010 品質マネジメントシステムの運用

検査項目 半期検査

検査対象

1)コンディションレポート及び不適合の傾向把握・分析

資料名

- ・原子力QMS 改善措置活動要領(原品8-3)(改 38)
- ・改善措置活動運用要領書(原品8-3-品品2(女川))(改 45)
- ・不適合事象+不適合未満CR(2023.4.1~2023.9.30)
- ・CR傾向把握・不適合傾向把握について(2022 年度下期)

2 チーム検査

(1)BM0010 使用前事業者検査に対する監督

検査項目 使用前事業者検査(変更工事)

検査対象

1)2号機 新規制基準への適合性に係る工事【検査未了】

資料名

- ・使用前事業者検査(施設)実施要領書及び成績書(O2-1-0301、0303、0307、0316、0323、0324、0404、0703、0707、0713、0803、0804、0807、0809、0810-1、0810-2、0902、1151-4、1251-1、1609、O2-2-0201、0314、0322、0324、0605、0705、0713、0715、0721、0803、0810-1、0851-1、0902、O2-3-0203、0307、0310、0311、0316、0317、0319、0324、0404、0703、0710、0810-2)

2)2号機 新規制施行で新たに技術基準への適合性が求められる溶接部【検査未了】

資料名

- ・溶接部の技術基準適合性確認要領書(O2-溶-BF-1)
- ・溶接部の技術基準適合性確認成績書(O2-溶-BF-1)

(2)BQ0010 品質マネジメントシステムの運用

検査項目 年次検査

検査対象

1)改善措置活動の実効性、他施設における運転経験及び知見の活用

資料名

- ・原子力QMS 改善措置活動要領 2023 年6月9日(第 38 回改正)
- ・改善措置活動運用要領書 2022 年8月 30 日(第 45 回改正)
- ・直接原因分析要領 2022 年1月 18 日(第 11 回改正)
- ・根本原因分析要領 2021 年 12 月 13 日(第 13 回改正)

- ・原子力保安情報処理要領 2022年8月26日(第28回改正)
- ・女川原子力発電所情報検討会要領書 2021年6月10日(第27回改正)
- ・ニューシア登録管理要領 2022年3月28日(第16回改正)
- ・原子力QMS データの分析要領 2022年11月21日(第34回改正)
- ・改善措置活動分析要領 2023年2月28日(第21回改正)
- ・CR傾向把握・不適合傾向把握について(2022年度上期)
- ・CR傾向把握・不適合傾向把握について(2022年度下期)
- ・不適合事象案件リスト(2020.4.1～2020.10.20)
- ・不適合未満CR案件リスト(2020.4.1～2020.10.20)
- ・不適合事象＋不適合未満CR案件リスト(2020.10.21～2023.6.30)
- ・未然防止処置対応状況(自社分)
- ・未然防止処置対応状況(他社分)